

報 告 書

平成 14 年 11 月 22 日 企画財政部

件名 突哨山整備に関わる説明会

日時 平成 14 年 11 月 21 日 18:00～20:00

場所 ときわ市民ホール 402 研修室

出席者 別添のとおり

平成 13 年度突哨山自然環境保全懇話会委員 14 名

市関係者事務局 2 名

関係部局 4 名(オブザーバー参加)

計 21 名

打ち合わせの内容・結果

[市側からの説明]

第 1 回説明会の結果

- ・公園の名称は経過を良く知る者で検討してはどうか?突哨山で良いのではないか?
 - ・公有地と私有地を区分するため名称に「里山公園」などのサブタイトルを付けたらどうか?
 - ・案内看板に 語源(アイヌ語) 旭川市と比布町で取得したこと トイレの位置を入れたらどうか?
 - ・散策路の標識を増やす。
 - ・看板のデザインは専門家、堀川さんと相談してはどうか?
- の意見を受け、看板の案を作成し説明。

国道 40 号案内標識の位置変更の説明

駐車場看板の説明

[意見交換]

名称について

- ・名称は突哨山で良い。
- ・サブタイトルの里山は北海道ではあまり馴染みが無い。
- ・愛称的なものは、利用者から自然に付いてくるのではないか？
- ・凡例で公有地化した部分とそれ以外の区域がわかるようになれば、今サブタイトルは付けなくても良いのではないか？
- ・名称は“突哨山”。凡例の公有地化した部分を“突哨山公園”と表示してはどうか？」

了。

○案内看板の選定

- ・(色合い異なる)3案のうち、地色と地図の色が同じような明度の2番目は、時間が経過し風化が進むと見づらくなる。そのような事例を見た。明度の違いがハッキリしている1番目の案が良いのではないか？
- ・(堀川氏)看板の地色については3案示しているが、突哨山周辺が田園地域でもあり、緑系の色調とした。
- ・1番目の案で良いか？

了。

案内看板中標語について

- ・“市民全体”の財産とあるが、比布町を考慮すると市民でよいのか？(比布町)町としては構わない。
- (市)軟らかい表現も意識し“市民全体”を“みんな”としてはどうか？
- ・“足下の小さな命を大切にしましょう”とあるが、小さな命の表現は良いと思うが、「大切にしましょう」は柔らかく、自然を見守る、目を留めてもらうような表現が良いのではないか？
- ・前段の財産です。からのつながりが良くないのではないか？
- ・この標語はこれまでの規制を意識した内容でなく、良いのではないか？
- ・特にこの表現で良いのではないか？

(市)“大切に”の部分の表現は他に意見がなければ、このままで進めたいと思う がいかがか？

了。

標識について

- ・ 男山への経路が示されていない。

(市)男山については、途中で私有地があり現段階では市としても積極的に誘導することはできない。現在所有者について確認中であり、将来経路を確保できたら、標識の修正を考えたい。

- ・ 案内看板もそうではあるが、比布町に看板類を設置しなくても良いのか？

(市)現在比布町側からの進入経路がない。

(比布町)町は将来的に村上山公園からの経路確保を考えている。その時点で案内看板も設置したい。

将来、散策路の確保や今後利用の方法などを考慮し、その時点で案内看板や標識を修正することです。

- ・ 標識が前回よりも増えたことは良いが、稜線途中に1カ所あると良い。
- ・ (市)駐車場側から入る最初の標識を稜線途中に変更することでいかがか？
了。

その他

- ・ 管理面について伺いたい。来年100人以上の小学生を連れて入りたいと考えているが、許可は必要か？虫を取ったり、花を摘んだり、枝を折ることについてはどうか？

(市)現時点でも、公園の場合でも、公有地であり市民共有の公共財産である以上は、許可無く利用できる。ただし、個人や特定の団体が占用的に利用することはできない。その場合は事前に調整が必要。また、採集や採取についても同様で、自然調査や研究の目的、管理に必要な調査であるなどの場合を除き個々の財産では無い以上認めることはできない。公園で子供達が虫取りをしたり、花を摘んだりしているが、これも自然とのふれあいであり、がちがちの規制はしたくないが、どこまでが良くてどこからが悪いのか 量的な判断は難しい。100人以上の子供達が入るなど団体で利用する場合、むやみに虫を捕ったりしないよう指導するのが大人の責任であり、自然の大切さを教えながら活用して欲しい。

- ・ 利用者数などを把握しているのか？ 管理面では利用者数や利用者の動向、情報の提供などが必要。特に利用者数は管理運営の上で必要ではないか？
- ・ 他の公園はどうか？ 山や自然公園でも経路途中に入山者が芳名する場所や瓶に記録簿を入れておき、利用者に書いてもらうなどの方法を取っている。
- ・ 突哨山は、カタクリの季節以外ほとんど利用者を見かけない。管理人まで必要ないが、団体利用もあり何らかの方法で利用者数の把握が必要ではないか？

(市)河川敷のパークゴルフ場などでは、小屋に芳名録を置き、利用者を書いてもらっている。何らかの方法で利用者数の管理を考えたい。

以上